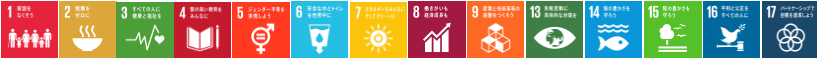
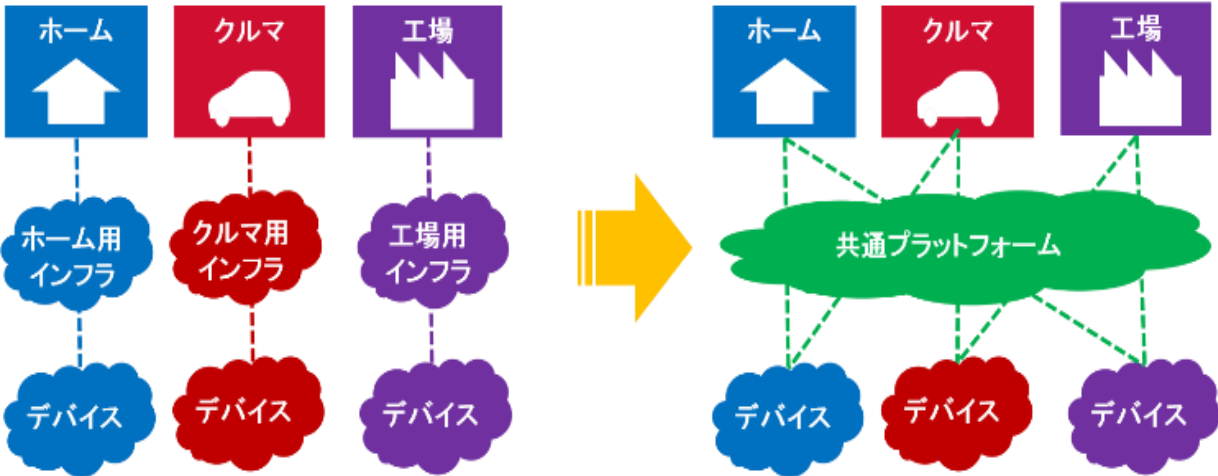


中期標準化戦略(概要と目的)		専門委員会・AG名	oneM2M専門委員会	1/3
企画戦略委員	中野 裕介（KDDI）		登録委員数	21人（1グループ）9社
正副委員長 リーダー・サブ	委員長：山本 賢一（KDDI）、副委員長：山崎 育生（NTT）		図解	
活動の目的・意義	・ これまで別個に標準化が行われてきた垂直統合型のプラットフォームを、共通の水平型のプラットフォームにすることで、異なるアプリケーションを同じプラットフォームで活用できること、将来のIoT/M2M市場のフラグメンテーションを避けること、各地域における同様な標準化作業の重複を避けることを主眼とする（別紙参照）。			
活動する上での課題	Release3完成により、技術仕様策定の活動としてはほぼ安定し、これまでの仕様策定から、今後は開発者への浸透、ユーザ企業の参画を促進し、サービス導入、ビジネス開発の推進の観点にシフトしていくことが課題である。			
関連のSDGsゴール				
標準化方針	・ oneM2Mの次期仕様であるRelease 5の策定に向けた積極的寄与（日本からの寄与文書提出の促進など） ・ 2021年1Qに策定予定のoneM2M技術仕様書（Release4）のダウンロード制（2021年3月以降を予定） ・ oneM2M準拠製品・ソリューション普及、及びRelease 4仕様の採用、普及を目的としたセミナー/チュートリアルを開催等、時宜にかなった対応を検討する。			
国内外標準化団体動向	oneM2M ・ 2020年4Q、SC/TP/WGの議長・副議長任期満了に伴う選挙を実施 ・ Release2をベースとしたITU-T勧告化がほぼ完了、Release3の勧告化の検討に向けた取り組み中 ・ Release4の検討が進んでおり、2020年Q1にStage2のFreeze済み、2021年1QまでにStage3のFreezeを目標、策定は2021年1Q予定			

重点取り組みと成果	- oneM2M仕様書の適時ダウストリームの実施（Release4策定時（2021年1Q）に速やかに対応予定） - oneM2Mの次期仕様であるRelease4策定に向けた積極的寄与（日本からの寄与文書提出の促進）			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各IMとして提出するため目標設定はしないが、日本勢として積極的な寄与を呼びかける	KDDI、日立から20件以上の寄与文書の提出を行った。	
	外部会合への参加・連携状況	TP会合（2020年4月、7月、10月、11-12月、2021年2月、計5回予定）	oneM2M：TP会合（2020年4,7,9,11月に参加、2021年1月に参加予定）	
② ドキュメント作成 国内標準仕様書レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウストリーム	数	現在、Release4策定中であるが、2021年1QにそのRatificationが予定されているので、それ以降にダウストリームを行う予定（2021年度予定） TS：？回 TR：？回	TS制定：0件 TR制定：0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	年度内にRelease4策定が終了したら、Release4セミナーを実施する スマートシティ、3GPP連携、IoTエリアネットワークなどをテーマとした他専門委員会と合同のセミナー開催を検討	0件	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート執筆、講演会への講師としての参加	0件	

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動予定）			専門委員会・AG名	oneM2M	3/3
新テーマ及び重点取り組み	- oneM2M仕様書の適時ダウストリームの実施（Release4策定後に速やかに対応予定（2021年2Q）） - oneM2Mの次期仕様であるRelease5策定に向けた積極的寄与（日本からの寄与文書提出の促進） - oneM2M準拠製品・ソリューション、各国導入に向けた取り組み（インドでの国内標準採用等）、及びRelease 4仕様の採用、普及を目的としたセミナー/チュートリアルを開催（他の専門委員会との協力を推進）				
関連する専門委員会とその内容	3GPP：oneM2M/3GPPインターワーキング関連で連携を検討する。 - IoT/スマートシティ：スマートシティ、ITU-T勧告化の情報交換を進める。 - BSG：oneM2M普及について、協力/情報交換を進める。 - IoTエリアネットワーク：IoTエリアネットワークに関して情報提供を検討する。				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況		記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各IMとして提出するため目標設定はしないが、日本勢として積極的な寄与を呼びかける	-		
	外部会合への参加・連携状況	TP会合（2021年4月、6月、8月、11月、2022年2月、計5回予定）			
② ドキュメント作成 国内標準仕様書レポート	JJ標準	0件			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件			
③ ダウストリーム	数	(Release4:2020年2Q以降) TS制定予定：?件 TR制定予定：?件			
④ プロモーション 普及推進	セミナー	Release4策定完了後、スマートシティなどをテーマとした他専門委員会と合同のセミナー開催を検討。			
	記事投稿、講演会	TTCLレポート執筆、講演会への講師としての参加			

oneM2Mの目指す世界



oneM2Mを中心とした他の技術との連携・協調の状況

標準化作業のオーバーラップを避けるため、IoT関連団体とのコラボレーションが重要

提携団体（リエゾン、ワークショップ等）

技術採用、インタワーキングをする団体

パートナー

